

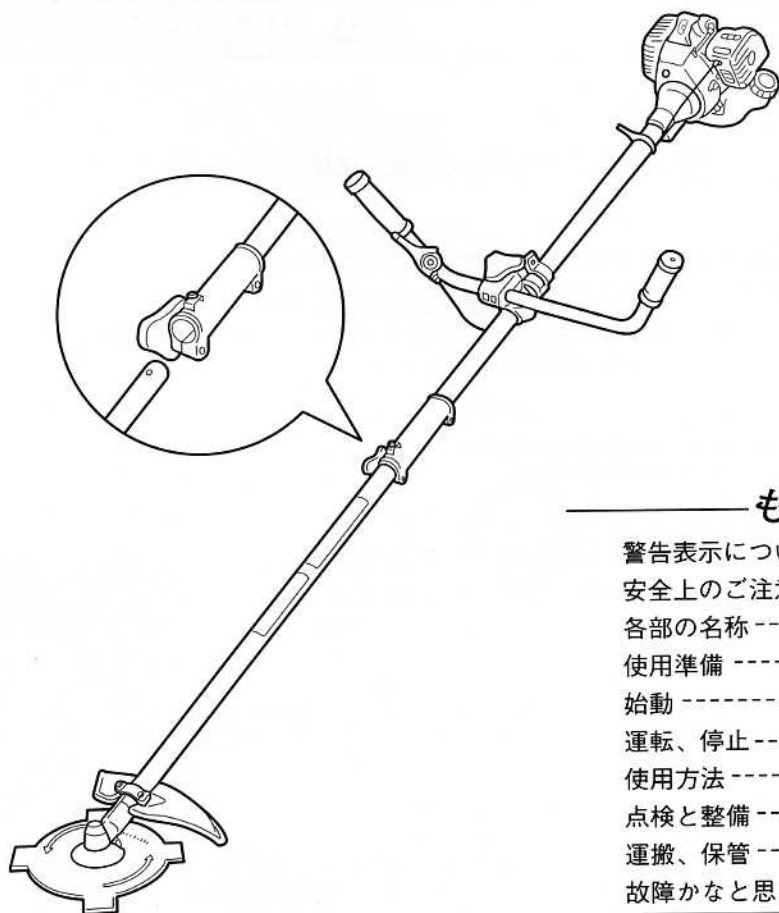
RYOBI®

エンジン刈払機 (ジョイント式)

EKS-20

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

警告表示について	1
安全上のご注意	2~5
各部の名称	6
使用準備	7~8
始動	9~10
運転、停止	10
使用方法	11
点検と整備	11~14
運搬、保管	14
故障かなと思ったら	15






このたびは、リョービエンジン刈払機をお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分にご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

警告表示について

●警告マーク

本機、および取扱説明書に警告マークを表示しています。
この表示マークの意味を十分ご理解のうえでご使用ください。

 火気厳禁	給油時は必ずエンジンを停止すること。 火気の近くでは絶対に燃料補給しないこと。		使用前に取扱説明書を最後まで必ずよく読むこと。
	換気の悪い場所や建物の中では運転しないこと。		作業中は保安帽（ヘルメットなど）、保護めがね、耳栓などの保護具を着用すること。
			作業中は半径15m以内に人や動物、ものなどを近づけないこと。

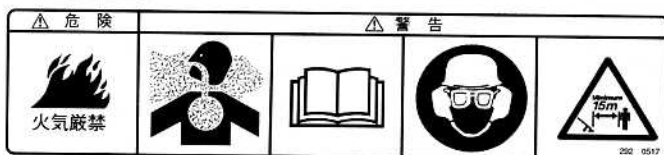
●警告ラベル

本機に次の警告ラベルが貼付けてあります。よく読み理解したうえで作業してください。




取扱い

- 警告ラベルに付いた汚れや泥を取り、表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
- 警告ラベルが損傷したりはがれた場合は、新しいラベルと交換してください。
- 警告ラベルが貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品の同じ場所に、同じ警告ラベルを貼ってください。


貼付位置






注意文「 警告」、「 注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが発生が想定される内容のご注意。

「 警告」・「 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様、必ず守ってください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を、必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に、必ず保管してください。

警告

ご使用前は

1. 小石、ガラス、くぎ、針金、ひもなどの異物を作業場から取除いてください。
 - ・刃物などに当たり飛散して、作業者や周囲の人がけがをする原因になります。
 2. 強風、雨のとき、および夜間は使用しないでください。
 - ・安全な作業ができないため、けがの原因になります。
 3. 換気の悪い場所や建物の中では、絶対にエンジンを始動、運転しないでください。
 - ・一酸化炭素中毒の原因になります。
 4. 次のような人、または状況下では使用しないでください。安全な作業ができないため、けがの原因になります。
 - ・子供には使わせないでください。
 - ・生理中、妊娠中の人は使用しないでください。
 - ・疲れているとき、病気の時、酔っているときは使用しないでください。
 - ・薬物の影響、その他の理由で、正常な運転ができない人は使用しないでください。
 - ・機械の知識のない人や、他人の機械を借りて作業をするときは、あらかじめ安全作業の指導を受けてから使用してください。
- また、本機を人に貸すときは、取扱説明書を必ず添付してください。
5. 無理な使用をしないでください。機械に無理がかかり、反動でけがをする原因になります。
 - ・機械に適さない使用をしないでください。
 - ・使用限界が示されているものは、必ずその使用範囲で使用してください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
 6. きちんとした服装で作業してください。安全に作業するための身だしなみです。
 - ・すそじまりのよい長そで、長ズボンを着用してください。
 - ・宝石や、物に引っ掛りやすいものは、身に付けないでください。
 - ・ヘルメットなど、労働省検定規格に合格した保安帽を着用してください。
 - ・長い髪は、肩までの長さで結わえてください。
 - ・足元保護のため、安全靴を着用してください。
 - ・耳栓、または耳覆いを付けてください。
 - ・手袋を着用してください。
 7. 作業時は保護めがねを着用してください。
 - ・着用していないと、切りくずなどが目に入り、けがの原因になります。
 8. 粉じんの多い作業では、防じんマスクを着用してください。
 - ・着用していないと、粉じんを吸込み、病気の原因になります。
 9. 始動する前に、取付けに用いたドライバやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
 - ・取外していないと、始動のはずみにドライバなどが飛び、けがの原因になります。
 10. 各部の点検をしてください。損傷箇所やネジなどのゆるみがあると、けがの原因になります。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整、および締付状態、部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所で修理を行ってください。
 - ・使用前に、必ず各部のネジがゆるんでいないか、オイル、グリースが入っているか、漏れがないかを点検してください。



警告

11. 本取扱説明書に記載されている純正部品以外のものを使用しないでください。
 - ・事故やけがの原因になります。
12. エンジンを回さないで、機械の操作方法を練習してください。
 - ・より安全に使用していただくためです。

ご使用中は

13. 無理な姿勢で作業をしないでください。けがの原因になります。
 - ・作業は、両足でしっかり踏ん張り、身体全体でバランスを取ってください。
 - ・作業は腕力だけで振り回さず、無理のない操作をしてください。
 - ・傾斜地の作業は滑りやすいので、足元に十分注意してください。
14. 次の場合はエンジンを停止させてください。エンジンを運転したままにしていると、けがの原因になります。
 - ・作業を中止したり、移動するとき。
 - ・作業中に機械から離れるとき。
 - ・付属品を交換するとき。
 - ・使用しない、または点検や整備、修理するとき。
 - ・機械の調子が悪かったり、異常音が出たとき。
 - ・その他、危険が予想されるとき。
15. エンジンを始動するときは、次のことに注意してください。

始動と同時に刃物などが回転する場合があります、けがの原因になります。

 - ・周囲に人、動物、障害物などがいないかを十分確認してから始動してください。
 - ・しっかり機械を固定してください。
16. 作業はゆとりを持って行なってください。より安全に作業していただくためです。
 - ・取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して、慎重に作業してください。
 - ・燃料を補給するとき、休憩するようにしてください。連続使用すると、振動により、白ろう病にかかる恐れがあります。
17. 作業中はもとよりエンジン停止直後は、マフラーやエンジン本体、ポンプなど高温部に触れないようにしてください。やけどや火災の原因になります。
 - ・マフラーやマフラー周辺に可燃物を置いたまま、エンジンを運転しないでください。
18. 運転中は、点火プラグキャップや高圧コードに触れないでください。
 - ・感電の原因になります。



燃料について

19. 燃料補給の際は、次のことを守ってください。

マフラー、排気ガスは高温であるため、燃料に引火し、やけどやけがの原因になります。

 - ・燃料補給は、必ずエンジンを停止させて、十分冷えてから行なってください。
 - ・火気の近くでは、絶対に燃料補給しないでください。特に、タバコを吸いながらの作業は行なわないでください。
 - ・燃料はこぼさないように補給し、こぼれたときはふき取ってください。
 - ・補給後は、補給場所から3 m以上離れて、エンジンを始動してください。



ご使用後は

20. 乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。
 - ・機械の知識がない人が使用し、けがの原因になります。
21. 修理は、お買上げの販売店にお申し付けください。

修理の知識がない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

 - ・修理、調整をするときは、エンジンを停止し、点火プラグのコードを抜いてください。
 - ・損傷箇所がある場合は、修理してから収納してください。
 - この場合、部品、消耗品は、指定の純正部品を使用してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。
 - ・保管時や輸送時は、燃料を抜いてください。また機械をしっかり固定してください。

注意

1. 燃料はガソリン 2 5 に対し、2サイクルエンジンオイル 1 の割合で混合されたものを、必ず使用してください。
 - ・エンジンの焼付き、またはエンジン不調の原因になります。
2. 注意深く手入れをしてください。安全に能率よく作業していただくためです。
 - ・刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
 - ・長期間保管するときは、燃料タンク、キャブレタ内の燃料を抜いてください。
 - ・各部を十分清掃し、金属部分には薄くオイルを塗ってください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じて、しゃ音壁を設けるなどしてください。

●刈払機ご使用上のご注意

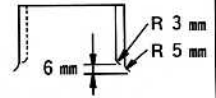
先に一般工具として共通の注意事項を述べましたが、刈払機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

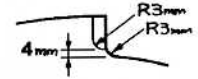
ご使用前は

1. 本機の使用用途は刈払いです。枝打ち作業などには、絶対に使用しないでください。
 - ・けがや事故の原因になります。
2. 刈刃は指定のもの以外使用しないでください。けがの原因になります。
 - ・刈刃や付属品は取扱説明書に従って、確実に取付けてください。
 - ・刈刃の穴を刃受金具凸部に確実ににはめてください。
 - ・交換時は、必ず指定の純正部品を使用してください。
 - ・ナイロンカッタを使用するときは、指定の柔軟性のある非金属コードのみを使用してください。針金などは、絶対に使用しないでください。
 - ・刈刃はよく目立てされたものを使用してください。
 - 刈刃を目立てするときは、割れ防止のため、必ず刃元に丸みを付けてください。(上図参照)
 - ・少しでも曲がり、ゆがみ、亀裂、折れ、損傷がある刈刃は、新品に交換してください。
 - ・押えボルトはゆるみ防止のために特殊な加工がしてあります。付属の⓪ドライバ付ソケットを使用し、最後まで締付けてください。
 - ・刈刃取付け後、刈刃を手で回して、押えボルトが確実に締まっているか、刈刃にガタツキ、振れなどがなければ確認してください。
 - 適切に取付けられていないと刈刃が飛び、作業員、または周囲の人に重傷を負わせることがあります。
3. 刈刃の取付け、交換時には、必ず手袋を着用してください。
 - ・誤って手が滑り、刈刃でけがをしたり、高温になったギヤケースで、やけどをする恐れがあります。
4. 飛散防護カバーは、必ず取付けて使用してください。
 - 刈りくずが飛散し、けがの原因になります。
 - ・指定する位置に取付け、確実に固定しているか確認してください。
5. 作業場に電線管や水道管、ガス管などが無いことを確かめてください。
 - ・電線管や水道管、ガス管があると、刈刃が触れ、感電や漏電、ガス漏れの原因になります。

4 枚刃



8 枚刃



ご使用中は

6. エンジンを始動するときは、次のことに注意してください。始動と同時に刈刃が回転する場合があります、けがの原因になります。
 - ・刈刃が地面に触れないようにしてください。
 - ・周囲に人、動物、障害物などが無いかを十分確認してください。
7. 連続運転は疲労のため、事故の原因になります。
 - ・1回の作業時間は30分以内とし、10~20分休憩してください。
 - (参考) 国有林では、作業員の健康管理のため、次のような基準が設けられています。

作業は連続3日を限度として、			
1回の連続作業時間	30分以内	1週の作業日数	5日以内
1日の作業時間	2時間以内	1月の作業時間	40時間以内
8. 作業中は、半径15m以内に人や動物、ものなどを近づけないでください。
 - 刈刃が当たり、けがの原因になります。
 - ・これらが接近したときは、直ちにエンジンを停止し、刈刃の回転を止めてください。
 - ・同一作業場で、同時に作業するときは、15m以上の間隔を取り、監督者をおいてください。
9. 無理な姿勢で作業しないでください。けがの原因になります。
 - ・刈刃部分を腰より上にあげないでください。
 - ・作業は両手でハンドルをしっかり握り、腕力だけで振り回さず、無理のない操作をしてください。
10. 作業中、緊急事態が発生したときや作業を終えるときは、クイックリリースレバーを引張り、本機を肩掛バンドから離してください。
 - ・けがの原因になります。
11. 刈刃部に草などが巻付いたときには、必ずエンジンを停止した後、刈刃の回転が停止したことを確認してから、草などを除去してください。
 - ・草などを取除いたはずみで不意に刈刃が回転し、けがの原因になります。
12. 作業中、刈刃を石、金属、切株に当たらないようにしてください。
 - 刈刃が割れ、破片が飛散し、けがの原因になります。
 - ・当たった場合は、必ずエンジンを停止した後、刈刃の回転が停止したことを確認してから、刈刃に異常がないか確認してください。
 - ・小石などが当たると、小石がはね飛ばされ、けがの原因になります。
 - ・切株などに刈刃が食込んだときには、必ずエンジンを停止してから、刈刃を切株などから離してください。



⚠ 警告

13. 回転中の刈刃が硬いものに接触した場合、反動（はね返り）が起こり、機械や作業者が激しく突かれます。

そのため、作業者は機械を制御できなくなり、けがの原因になります。

かん木などの木を切るときも、反動で機械が振り回されることがあります。

これを防止するため、刈刃の左30°（11時の方向）の所をかん木に当て、真っ直ぐ切込んでください。（右図参照）



・その他で切断すると、はね返りが発生し、けがや事故の原因になります。

14. 刈払機を使用している人に近づくときは、使用者から15m離れた位置で合図し、刈刃が停止したことを確認してから近づいてください。

・不用意に近づくと、使用者が気づかず、事故の原因になります。

15. 誤って落としたりぶついたりしたときは、刈刃や本機に亀裂、変形などがないか確認してください。

・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

16. 作業を終えるときは、必ずエンジンを停止し、刈刃の回転が停止したことを確認してから、機械を降ろしてください。

・エンジンを停止した後も刈刃が回転し続けることにより、けがをすることがあります。

⚠ 注意

1. 必ず肩掛バンドを使用し、肩掛バンドとハンドルを作業しやすい位置に調整をしてください。

・より安全に作業していただくためです。

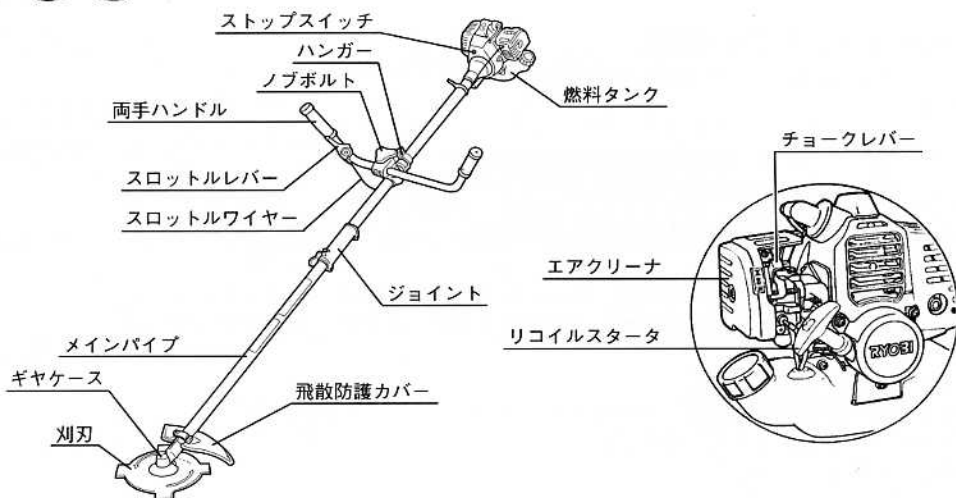
2. 草が高く残っているときは、まず高刈りをし、障害物を確認してから作業してください。

・隠れた障害物に刈刃が当たり、けがの原因になります。

3. 保管や持運びのときは、必ず刈刃に刈刃カバーを取付けてください。

・刈刃に人が当たり、けがの原因になります。

各部の名称



●仕様

型 式		EKS-20	
エンジン	形 式	空冷2サイクル単シリンダ	
	排 気 量	cc	20.1
	最 大 出 力	PS	1.0
	キャブレタ	ダイヤフラム式	
	点 火 方 式	電子点火方式、フライホイールマグネット	
	スパークプラグ	NGK BM-6A	
	始動、動力伝達	リコイルスタータ、自動遠心クラッチ	
刈払装置	操 作	両手ハンドル	
	スロットルレバー	固定式レバー	
	刈 刃	mm	4枚刃 (φ230×φ25.4×1.4 t)
燃 料	混 合 比	25 (ガソリン) : 1 (2サイクルエンジンオイル)	
	タンク容量	ℓ	0.4 (連続運転、約40分)
寸 法	長さ×幅×高さ	mm	1820×590×360
重 量		kg	4.2 (5.4)

※記載重量には刈刃、刈刃カバー、飛散防護カバー、両手ハンドル、肩掛バンドを含んでおりません。
() 内は、燃料を除く全装備重量です。

●通常付属品

- ツールセット (⊕ドライバ付ソケット、六角棒スパナ (4mm))
- 刈刃 ● 刈刃カバー ● 飛散防護カバー ● 肩掛バンド ● 保護めがね

●刈刃の選定

- 丸のこ刃
山林の下刈りや、かん木刈り用。
- チップソー
山林の下刈りや、雑草用。
- 8枚刃 ● 4枚刃
雑草用。
- プラカッタ
やわらかい雑草から、芝生の刈込み用。
- ナイロノカッタ
キワ刈りや石の多い所、芝生の刈込み用。
- あんぜんロータ
ナイロノカッタと同じですが、一定寸のナイロノコードを差換えて使用するタイプです。
- オートカッタ
ナイロノカッタと同じですが、ナイロノコードが磨耗すると、自動的に送り出されます。

●刈刃適応表

刈 刃	丸のこ刃	チップソー	8枚刃	4枚刃	プラカッタ	ナイロノカッタ あんぜんロータ オートカッタ
用途						
下 刈	○	○				
雑草刈			○			
雑草刈				○		
芝 刈					○	○
キワ刈					○	○

●用途

- 芝生からかん木までの刈払作業。

使用準備

●メインパイプの接続

1.ギヤケース側メインパイプのキャップを外してください。

(注)

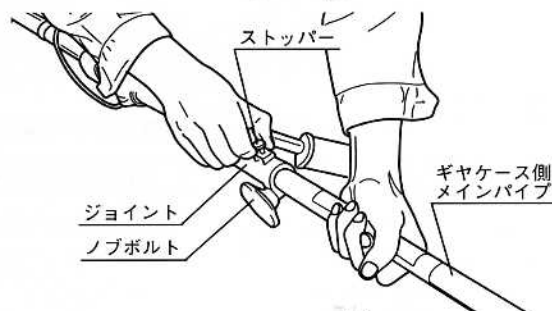
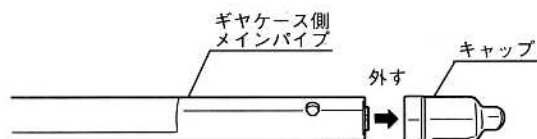
外したキャップは、保管や移動のときに必要です。無くさないようにしてください。

2.ジョイントのノブボルトをゆるめてください。

3.ストッパーを引上げながら、ギヤケース側のメインパイプをジョイントに、奥まで差込んでください。

4.ストッパーから手を放し、ストッパーとメインパイプ固定穴（ギヤケース側）を合わせてください。ストッパーが“カチッ”と音がして、メインパイプが固定されていることを確認してください。

5.ゆるめたノブボルトを締付けてください。

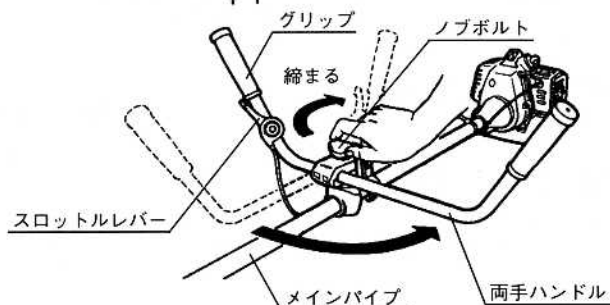
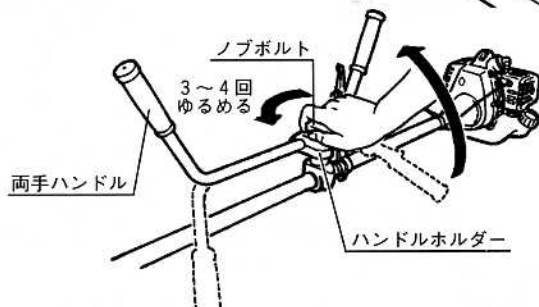


●ハンドルの調整

1.ハンドルホルダーのノブボルトを3~4回ゆるめ、両手ハンドルを起こしてください。

2.スロットルレバーが右手側となるように、両手ハンドルを回転させ、両手ハンドルとメインパイプを90°の位置にしてください。

3.グリップの左右バランスと角度を使いやすい位置にし、ノブボルトを締付け、両手ハンドルを固定してください。

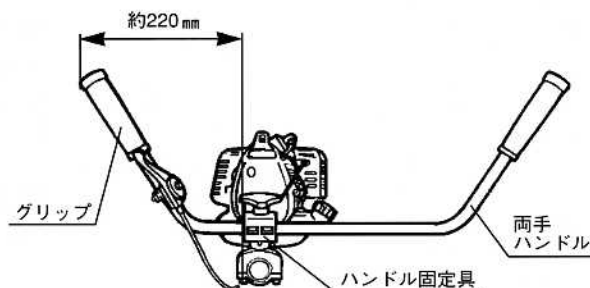


グリップの左右バランス

●右図のように、グリップ端からハンドル固定具まで約220mmの位置で両手ハンドルを固定すると、刈払作業が楽に行なえます。

(注)

バランスが悪いと疲れやすくなります。

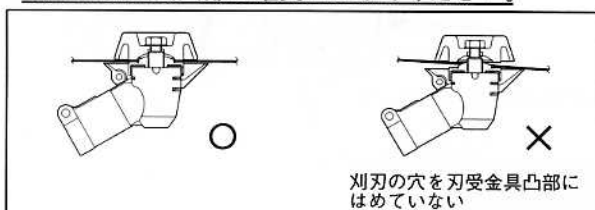
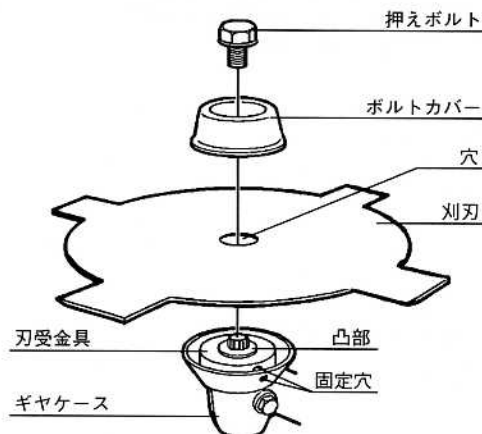


●刈刃の取付け

⚠ 警告

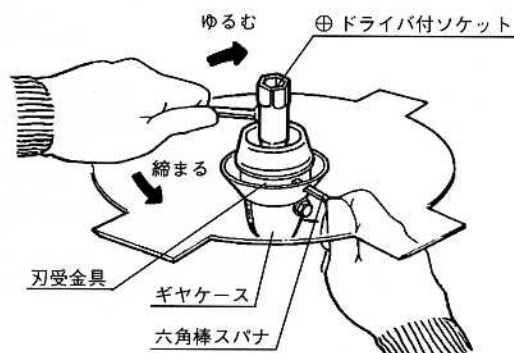
- ・刈刃の取付け、交換時には、必ず手袋を着用してください。
誤って手が滑り、刈刃だけがをしたり、高温になったギヤケースで、やけどをする恐れがあります。
- ・刈刃の穴を刃受金具凸部に確実にはめてください。
確実にハマっていないと刈刃が飛び、作業中、または周囲の人に重傷を負わせることがあります。
- ・押えボルトはゆるみ防止のために特殊な加工がしてあります。付属の⊕ドライバ付ソケットを使用し最後まで締付けてください。確実に締まっていなると刈刃が飛び、作業中、または周囲の人に重傷を負わせることがあります。
- ・刈刃取付け後、刈刃を手で回して、押えボルトが確実に締まっているか、刈刃にガタツキ、振れなどがないか確認してください。確実にないと刈刃が飛び、作業中、または周囲の人に重傷を負わせることがあります。

- 1.本機を裏返してください。
- 2.付属の六角棒スパナを、ギヤケースと刃受金具の固定穴に同時に通して固定し、軸が回らないことを確認してください。
- 3.付属の⊕ドライバ付ソケットを使用し、右に回して押えボルトをゆるめてください。
押えボルトは逆ネジ＝左ネジです。
- 4.押えボルト、ボルトカバーを外してください。
- 5.刈刃の文字がある面をギヤケース側にし、刈刃の穴を刃受金具凸部に確実にハマせてください。



その後ボルトカバー、押えボルトを取付けてください。

- 6.再度付属の六角棒スパナを、ギヤケースと刃受金具の固定穴に同時に通して固定し、軸が回らないことを確認してから、付属の⊕ドライバ付ソケットを図の矢印方向（左）に回し、しっかりと締付けてください。
押えボルトは逆ネジ＝左ネジです。
※参考締付トルク=1.5~2.0kg f・m

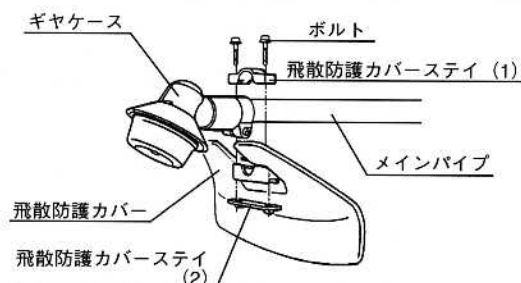


●飛散防護カバーの取付け

⚠ 警告

- ・飛散防護カバーは、必ず指定する位置に取付けて使用してください。刈りくずが飛散し、けがの原因になります。

- 1.飛散防護カバー本体の裏面にある溝に、飛散防護カバースティ(2)をはめ込んでください。
- 2.飛散防護カバー本体をギヤケースの端面に合わせてください。
- 3.飛散防護カバースティ(1)をメインパイプの上に置き、飛散防護カバー本体とともに、2本のボルトで均等に締付け固定してください。
付属の六角棒スパナを使用し、締付けてください。



始動

警告

- ・エンジンを始動するときは、周囲に人、動物、障害物などがないかを十分確認し、しっかり機械を固定してください。
始動と同時に刃物などが回転する場合があります、けがの原因になります。

燃料は正しい比率（ガソリン**25**に対し、2サイクルエンジンオイル**1**）で混合し、燃料タンクに入れてください。

混合燃料の作り方


- 混合容器にガソリンと2サイクルエンジンオイルを入れた後、よく振って作ります。

※燃料の混合には、別販売品の燃料混合器を使用してくださいと、便利です。

(注)

- ・2サイクルエンジンオイル以外のオイル、および正しい比率以外の燃料は、絶対に使用しないでください。エンジン焼付き、またはエンジン不調の原因となります。
- ・購入後、2～3ヶ月以上経過した古い燃料は、エンジン不調の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
また夏季などの高温下では、ガソリンが蒸発し、混合比が変わる恐れがありますので、混合燃料は1日の使用に見合った量を用意するようにしてください。

- 1.スロットルレバーを1/3～1/2程度開いてください。

- 2.チョークレバーを全閉の位置（) にしてください。

※エンジンが暖まっているとき（停止後、約15分以内）は、チョークレバーの操作は不要です。

- 3.オーバーフローパイプ内の気泡がなくなるまで、プライマポンプを十分押してください。（10回以上）

オーバーフローする燃料は、燃料タンクに戻る構造になっているため、吸込み過ぎの弊害はありません。

※エンジンが暖まっているとき（停止後、約15分以内）は、プライマポンプの操作は不要です。

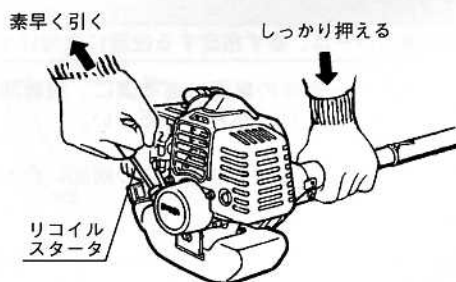
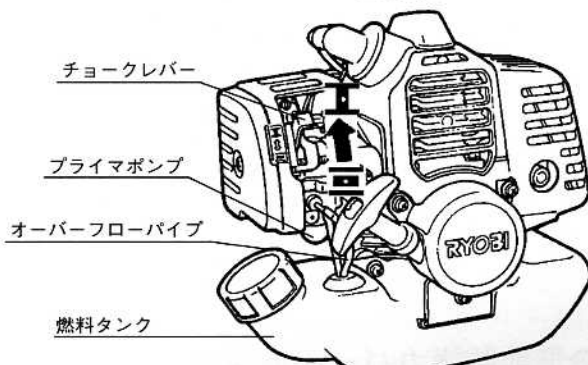
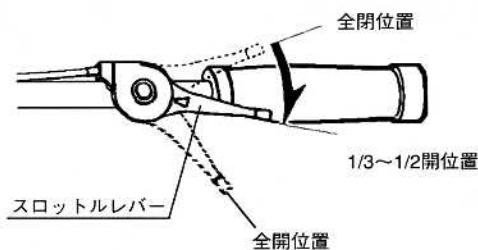
- 4.リコイルスタータ（ロープ）を、最初の爆発音ができるまで、素早く引いてください。


“ブルン”という爆発音がします。
（エンジンはかかりません。）

(注)

リコイルスタータのロープの全長を確認した後、全長の8割くらいで始動するように心がけてください。

全部を引いてかけると、ロープを引きちぎる恐れがあります。

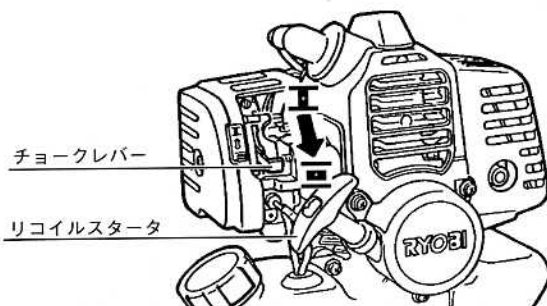


5. チョークレバーを全開の位置（）にしてください。
再度リコイルスタータ（ロープ）を引いてエンジンを始動させてください。

（注）

始動しない場合は、前頁2項（チョークレバーを全開）に戻り、再度操作を繰返してください。

6. 始動したら本機を持上げ、30秒くらい暖機運転をしてください。
その後スロットルレバーを戻し、低速運転（アイドリング）をしてください。



●燃料の吸込み過ぎについて

●最初の爆発音を聞き逃したままで（チョークレバー全開）、リコイルスタータ（ロープ）を何回も引くと、燃料の吸込み過ぎとなります。
この場合は、スロットルレバーを一杯に開き、チョークレバーも全開とした状態で、リコイルスタータ（ロープ）をエンジンがかかるまで（10～15回くらい）素早く引いてください。

●マフラーから燃料が出てくるほどの大量の吸込み過ぎの場合は、スロットルレバー、チョークレバーを全開とし、再度リコイルスタータ（ロープ）を約30～40回素早く引き、始動させます。

運 転

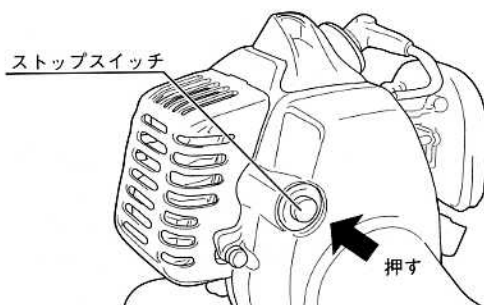
⚠ 警 告

- ・作業中は、半径15m以内に人や動物、ものなどを近づけないでください。
刈刃が当たり、けがの原因になります。
- ・刈刃部に草などが巻付いたときには、必ずエンジンを停止した後、刈刃の回転が停止したことを確認してから、草などを除去してください。草などを取除いたはずみで不意に刈刃が回転し、けがの原因になります。

1. 作業する前にスロットルレバーを少し開き、エンジン回転を上げ、刈刃が動くことを確認してください。
2. 低速運転（アイドリング）からスロットルレバーを徐々に開き、エンジンの回転を上げてゆきます。
作業をするときは、エンジン回転を上げてから行なってください。
（注）
作業しないときは、中速以上の回転、および空ふかし（無負荷高速回転）をしないでください。
故障の原因になります。

停 止

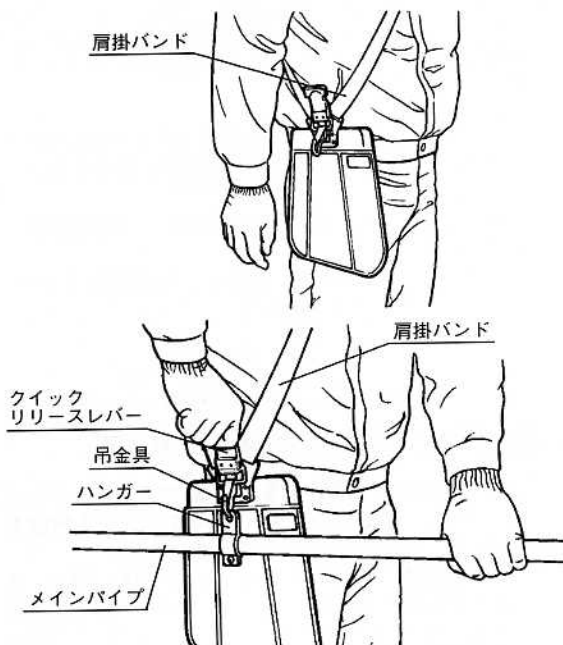
1. スロットルレバーを戻し、低速運転（アイドリング）をししばらく続け、エンジンを冷やしてください。
2. ストップスイッチを、エンジンが完全に停止するまで押してください。



使用方法

●肩掛バンドの使い方

- 1.肩掛バンドを右図のように身に付けてください。
- 2.長さを調整してください。
- 3.肩掛バンドの吊金具に、本機のハンガーを引っ掛けてください。
- 4.作業中、非常事態が発生したときや、作業を終えるときは、クイックリリースレバーを引っ張り、本機を肩掛バンドから離してください。



●基本的な作業

- 1.ハンドルを両手でしっかり握り、片足を一步踏込んで（刈刃の回転方向に合わせて）、体重の移動が安全で容易な体勢を作ります。
- 2.スロットルレバーを開き、刈刃の回転が十分上がってから草刈作業を開始します。
- 3.メインパイプだけを振り回さず、腰の回転によって操作します。
刈刃が左回転のため、右から左に移動するようにして、草刈作業を行ないます。
(注)
間違った刈刃や、指定サイズ以外の刈刃で草や木を切ると、本機のメインパイプやエンジンを破損させる恐れがあります。



点検と整備

お買い上げいただきました刈払機を、いつまでも調子よく保つために、定期点検を行なってください。

点検項目	点検時間	作業前	50時間毎
キ ャ プ レ タ		○ (点検)	
エ ア ク リ ー ナ		○ (点検、清掃)	
マ フ ラ ー		○ (点検、清掃)	
スロットルワイヤーの遊び調整		○ (点検)	
刈 刃		○ (点検、目立て)	
ギ ャ ケ ー ス			○ (給油)
ス パ ー ク プ ラ グ			○ (点検、清掃)

●キャブレタ

●アイドル調整ネジ

アイドル調整ネジを左右に回し、低速運転（アイドルリング）を調整してください。

アイドル調整ネジは右に回すと回転が上がり、左に回すと回転が下がります。

刈刃が動きはじめるやや前（停止状態）で、エンジンが停止しない状態としてください。

- 出荷時に燃料が最適に供給されるように調整してあります。むやみに低速燃料調整ネジを動かさないでください。エンジンの焼付き、回転不調、始動不良の原因になります。

●低速燃料調整ネジ

標準値は低速燃料調整ネジを全閉（右に軽く締付けた位置）にした所から1回転戻した（左に回した）位置です。

その位置から±1/4の範囲で調整してください。

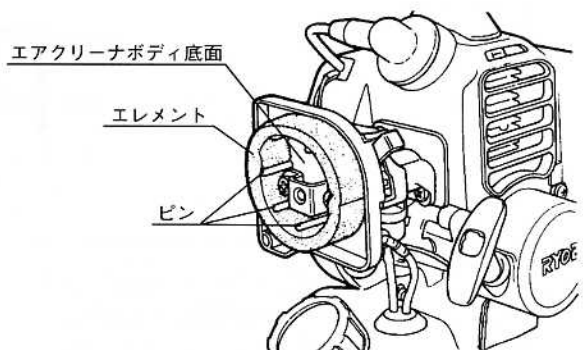
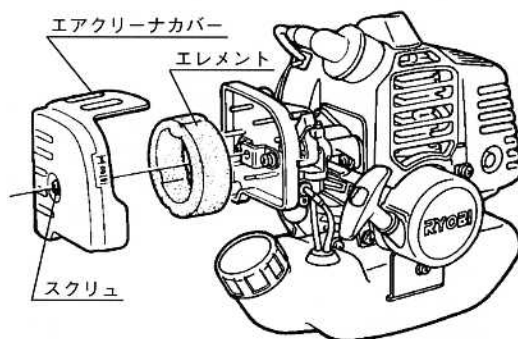


●エアクリーナ

1. エアクリーナのスクリュをゆるめ、エアクリーナカバー、エレメントを取外してください。

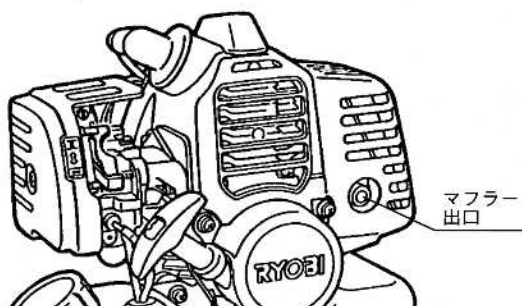
2. エレメントの汚れを点検し、軽くゴミを払うか、汚れのひどいときは、ガソリンで洗ってください。

3. エレメントはピンの外側に添わせ、エアクリーナボディの底面に密着させるように取付けてください。



●マフラー

- マフラーの出口は定期的にチェックしてください。もし、カーボンなどが付着し詰まっている場合には、⊖ドライバーなどで、カーボンを取除いてください。

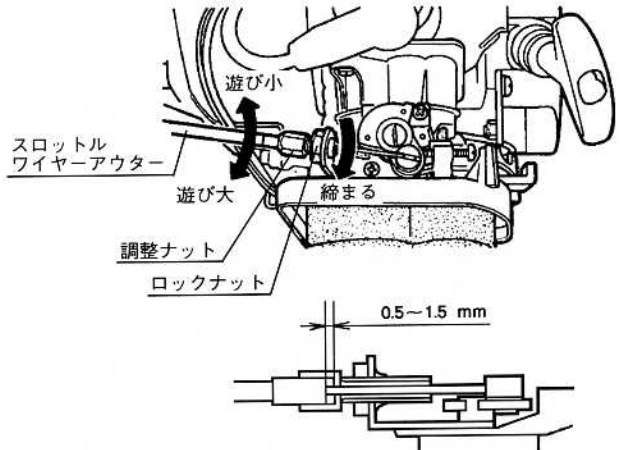


●スロットルワイヤーの遊び調整

⚠ 警告

- ・スロットルワイヤーアウターの遊びを、必ず確認してください。
遊びがないとエンジンのアイドル回転数が高くなり、刈刃が停止しなくなるため、けがの原因になります。

1. エアクリーナのスクリュをゆるめ、エアクリーナカバーを取外してください。
2. スロットルレバーを「低」（アイドリング）の位置にしてください。
3. ロックナットをゆるめ、調整ナットを回して、スロットルワイヤーアウターの遊びが0.5～1.5mmになるように調整してください。
4. ゆるめたロックナットを締付けてください。



●刈刃

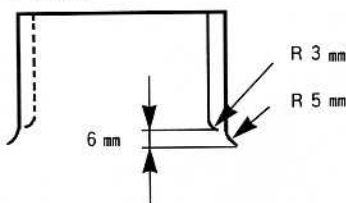
⚠ 警告

- ・少しでも曲がり、ゆがみ、亀裂、折れ、損傷がある刈刃は新品に交換してください。けがの原因になります。
- ・刈刃はよく目立てされたものを使用してください。刈刃を目立てするときは、割れ防止のため、必ず刃元に丸みを付けてください。使用中に刈刃が破損し、けがの原因になります。

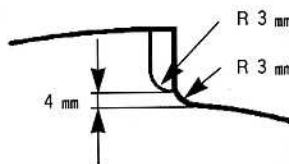
●刈刃の研ぎ方

刈刃が磨耗して、切れ味が低下したときは、次の寸法で目立てを行なってください。

●4枚刃



●8枚刃

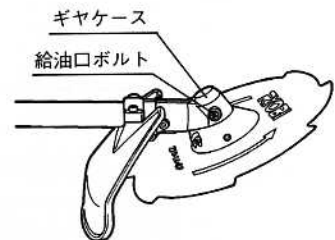


●チップソー

チップソーは構造上、目立てできません。切れ味が悪くなった場合は、新品と交換してください。

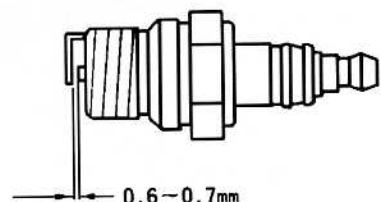
●ギヤケース

- 給油口ふたのボルトを、⊕ドライバ（No.3）を使用し取外してから、グリースを補給してください。
〔グリースは、コスモダイナマックスNo.2を使用してください。〕



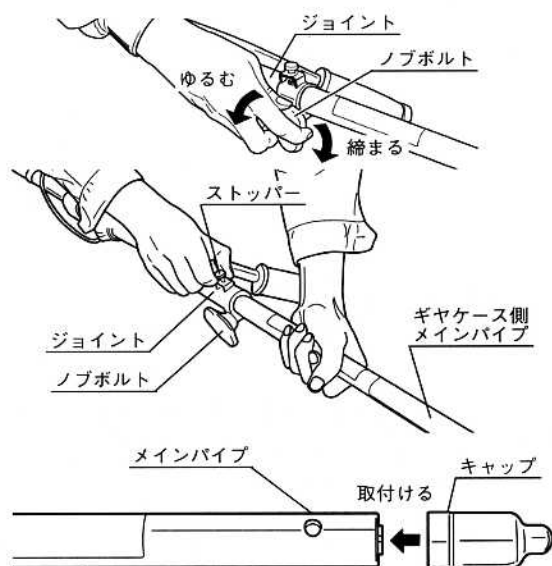
●スパークプラグ

- スパークプラグの適正な電極間隔は0.6～0.7mmです。
常に適正な間隔を保ち、カーボンや油などによる汚れに注意して、清掃のうえ使用してください。
〔スパークプラグの交換の際には、NGK BM-6A、またはチャンピオン CJ8 を使用してください。〕



●メインパイプの分離

1. ジョイントのノブボルトをゆるめてください。
2. 片方の手でストッパーを引上げながら、もう一方の手でギヤケース側のメインパイプを引張り、ジョイントから引抜いてください。
3. ギヤケース側のメインパイプにキャップを取付けてください。



運搬

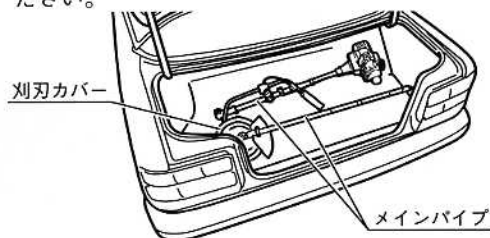
●持運び

- 本機を持運び場合は、図のように、メインパイプを接続したまま、両手ハンドルを折りたたんで運ぶと、楽に行なえます。
- 刈刃カバーを、必ず取付けてください。



●車載

1. 燃料タンク、キャブレタの燃料を抜き取ってください。
2. 刈刃カバーを取付けてください。
3. メインパイプを分離し、車のトランクに載せてください。



保管

本機を10日以上使用しない場合は、下記の操作を行なった後、保管してください。

1. タンクキャップを外し、タンク内に残った燃料を出してください。
2. エンジンを始動させ、自然にエンジンが停止するのを待ちます。
(キャブレタ内に残った燃料を空にするためです。)
3. エアクリーナを清掃すると同時に、各部の汚れを取除いてください。
4. 刈刃は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
5. 刈刃に刈刃カバーを取付けてください。
6. 両手ハンドルを折りたたんだうえ、メインパイプを分離すると、幅を取らずコンパクトに収納できます。
7. エンジンが十分に冷えていることを確認してから、乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。

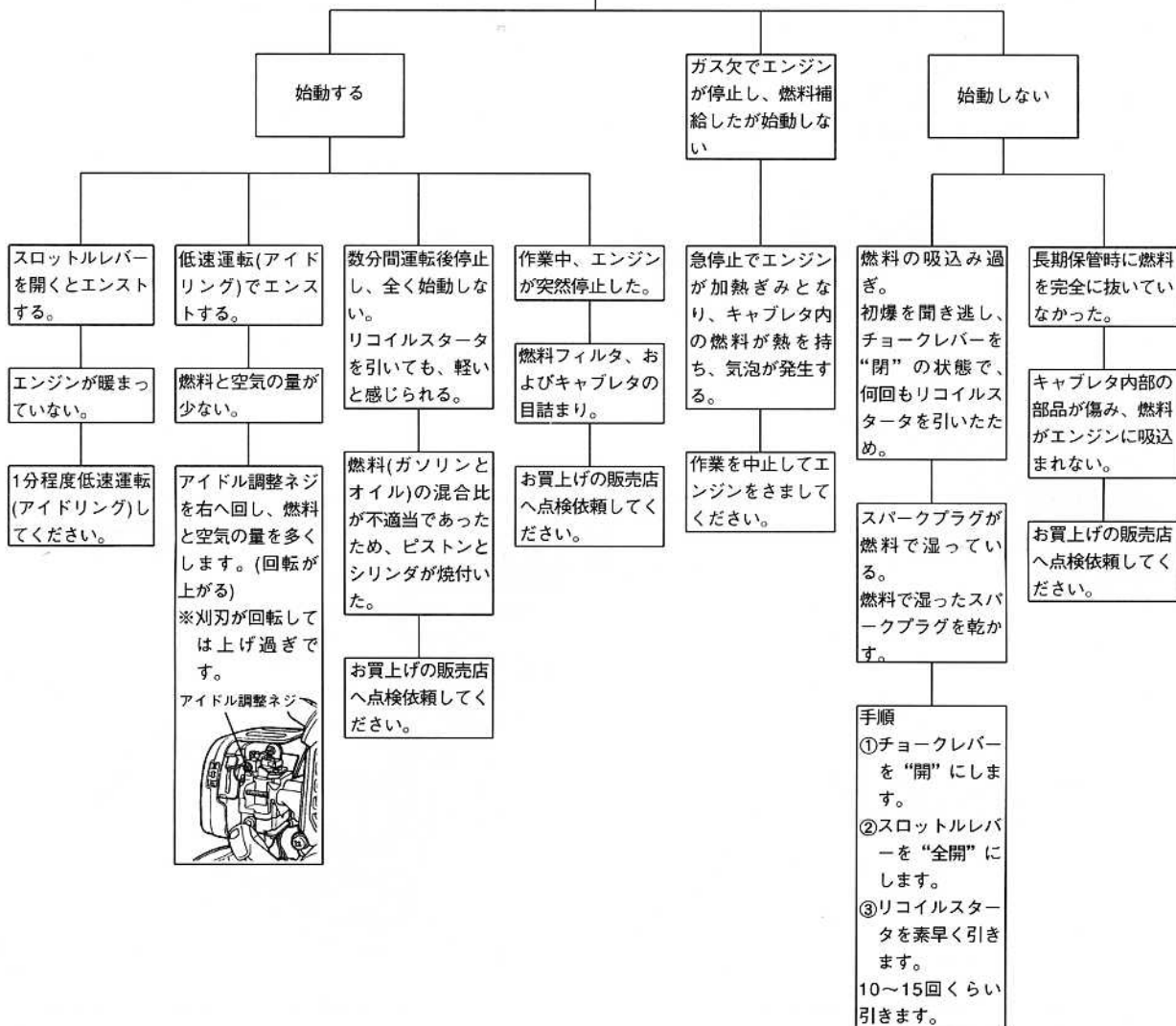
- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所で修理してください。

その他部品のご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストに添って点検を行なってください。

エンジントラブル時のチェックリスト



部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI

発売元
リョービ販売株式会社

製造元
リョービ株式会社